

第1学年 生活科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
4月～5月	がっこうだいすき(20時間)	知	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。
		思	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。
		主	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとしている。
6月	きれいにさいてね(8時間)	知	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。
		思	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
		主	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。
6月～8月	なつがやってきた(8時間)	知	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。
		思	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。
		主	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。
7月9月	いきものとなかよし(6時間)	知	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。
		思	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
		主	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。
9月～11月	たのしいあきいっぱい(21時間)	知	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。
		思	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。

第1学年 生活科 評価規準

		主	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。
1 1 月 1 2 月	じぶんでできるよ（12時間）	知	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。
		思	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどを見付けている。
		主	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。
1 2 月 ～ 1 月	ふゆをたのしもう（9時間）	知	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付いている。
		思	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。
		主	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。
時期	単元名	主な評価領域	評価規準
1 月 ～ 3 月	もうすぐ2年生（18時間）	知	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。
		思	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。
		主	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている